

ならに



学校だより 11月号

生命のしぶきがはねてるよ 火をふいて 未来だ
ともだち地球の みんなの祈りが打ちあげて

<http://www.city.funabashi.chiba.jp/gakko/0001/narani-e/index.html>
Tel 047-465-2199 Fax 047-465-2140

【教育目標】自ら学び心豊かでたくましく生きる子どもの育成
すすんで学ぶ子 ・ おもいやりのある子 ・ たくましい子

笑顔輝け習二小

校長 田中 紀代美

立冬が近くなり、植物も黄色や赤に色づき校内がカラフルになってきました。後期が始まり、運動会に向けて校内はとても活気づいています。

11月9日（土）は運動会が開催されます。児童会を中心に、ならにっ子たちが決めた今年のスローガンは、「一致団結 笑顔輝け 勝利の絆」です。子供たちは、運動会に向けて毎日一生懸命練習に励んでいます。各ご家庭におかれましては、お子さんを温かく見守り、また体調管理等ありがとうございます。運動会当日は、お子さんの成長した姿をご覧いただくことができますと思います。学校からの配布物をよく確認していただき、お子さんの応援をしていただければと思います。運動会の運営および進行にご理解・ご協力をお願いします。

さて、11月20日（水）創立記念日です。校章が昭和45年6月15日に制定され、学校のシンボルでもある校旗が昭和45年11月20日に制作されました。現在、校長室の前に初代校旗があります。校章の3つの輪は、知育・徳育・体育の調和的な成長発展を期するための営みを表現したそうです。知育は銀色でかしこさ、徳育は金色でゆたかさを、体育は銅色でたくましさを表しています。3つの輪の中心は小学校の「小」を表すとともに、平和の象徴である鳩も表しています。校章は、現在の学校教育目標でもある「自ら学び心豊かでたくましく生きる子どもの育成」に通じると思いました。これまで多くの子供たちや保護者、地域の方、教職員等のバトンを受け継ぎ、現在の習志野台第二小学校があります。温故知新「古きを温ねて新しきを知る」という言葉があります。私たちもこれまでの歴史を受け継ぎ、子供たちの輝く笑顔のため、教職員も心を合わせ笑顔で子供たちとともに、新しい歴史を作っていきたいと考えます。

★ 運動会について ★

11月9日（土）に開催される運動会については別紙で詳しい手紙がでています。必ず目を通していただき、当日ご参観ください。また、運動会までの間、係児童打合せや応援団・リレーの練習等、日課の変更や放課後の練習がありますので、お子様とご確認ください。リボンの配付を本日行いましたのでご確認ください。

★ 秋季運動会のお願いのお手紙について ★

10月24日（木）に配付した手紙の訂正があります。あかちゃんスペースのご利用にあたり、体育館のパンダ門側が入口との記載がありましたが、本年度は体育館の通常の入出口からの入場となりますので訂正させていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

★ 下校 ★

日が暮れるのもすっかり早くなりました。通常の下校はもちろん、船っ子教室、放課後ルーム、部活動等のときも、寄り道をせず、通学路を通して帰るようにしましょう。また、交通ルール、歩行マナーにも気をつけましょう。

★ 学校モール（徴収金）・校外学習代について ★

前期の引き落としが先日行われましたが、引き落としができなかったご家庭には学校モールより振り込みのご案内がメールに届いているかと思えます。ご対応をお願いいたします。校外学習の代金については各ご家庭で、業者への直接振り込みとなっております。振り込み用紙が配られ次第、振り込みをお願いします。

★ 全国学力学習状況調査の結果について ★

本校の令和6年度全国学力学習状況調査の結果について、今後、本校が努力すべき点などをまとめました。今月の学校だよりに掲載しましたのでご覧ください。

★ 学校運営協議会の開催 ★

本年度より、学校運営や必要な支援に関する協議を行う学校運営協議会が行われます。第2回は11月19日（火）10時15分より開催いたします。希望すれば傍聴することも可能ですので希望される場合は学校までご連絡ください。

【今月の予定】			今月の生活目標：本をたくさん読もう		
日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	金	全体練習予備日			
6	水	交流タイム 応援集会 5校時	20	水	おもいっきりタイム クラブ活動 創立記念日（通常登校）
8	金	運動会前日準備 4時間授業（1～4年） 13：10下校	21	木	3年校外学習（船橋市内） 歯科健康診断1、2年 授業研究 低学年
		5時間授業（5・6年） 14：35下校	22	金	全校朝会 授業研究 青空学級
9	土	運動会 1～4年 12：00下校 5・6年 12：25下校	24	日	船橋市総合防災訓練
			25	月	教育相談日
11	月	振替休業日	27	水	3年消防署見学 おもいっきりタイム 委員会活動
12	火	全校5時間授業			
13	水	千教研船橋支会	28	木	就学時健康診断 1～5年 11：10下校 6年 11：50下校
17	日	ふなばしをきれいにする日			
18	月	6年校外学習（国会・科学技術館）			
19	火	学校運営協議会			
船橋市スクールカウンセラー来校日 5日（火）、12日（火）、19日（火）、 25日（月）			千葉県スクールカウンセラー来校日 21日（木）		

令和6年度 本校の全国学力・学習状況調査結果について

令和6年度全国学力・学習状況調査が4月に6年生を対象に実施されました。その結果から、今後本校が努力すべき点や児童との関わり方を検討しまとめました。各ご家庭でもお子さまの学力向上および生活改善の参考にしていただければ幸いです。

(1) 調査内容について

① 教科に関する調査（国語・算数）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容はそれぞれの学年・教科に関するものが出題されました。以下の観点を一体的に問う問題が出題されました。

- (1) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- (2) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

国語…「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」について出題されました。

算数…「数と計算」、「図形」、「変化と関係」、「データの活用」について出題されました。

- (3) 問題形式は「選択式」、「短答式」、「記述式」の3つで出題されました。

② 活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査を行いました。

(2) 本校の児童に関する調査結果及び今後の手立てについて

《国語》

国語科では、全体正答率が全国と千葉県の平均をともにわずかながら上回る結果となりました。内容別に見ていくと、「言葉の特徴や使い方に関する事項」が本校の課題となっています。これは漢字を文の中で正しく使う力や敬語の使い方についての内容となっています。特に「熟語の意味の理解」や「同音異義語の書き取り」などを本校児童は苦手としています。一方、「情報の扱い方に関する事項」「読むこと」については全国と県の平均をともに上回る良好な結果となっています。これは校内研究として国語科の指導に力をいれてきた成果だと考えられます。

今後さらに伸ばしたい力として、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える力を育成していきたいと思えます。そのために言葉の働きに気づくことができるようにするための振り返りの時間を設け、自分たちの言葉の使い方を確かめる活動、言葉にこだわる活動を設定し、指導の工夫改善を図っていきます。

《算数》

算数科では、全体正答率が全国平均と県平均をともに数ポイント上回る良好な結果となっています。「変化と関係」に関する問題では特に良好な結果となりました。伴って変わる2つの数量の関係について、変化の特徴を考察して規則性を見付け、それをもとに筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求めることができました。これは授業を通して2つの数量関係を表に整理したり、整理したも

のから多様な見方をして規則性を見つけたりすることに繰り返し取り組んだ成果だと考えられます。

問題形式では、「短答式」「記述式」はかなり良好でした。授業において、技能を反復して習得するだけでなく、児童同士が関わりながら、理解したことを表現したり伝え合ったりしたことの成果だと考えます。一方で、「短答式」で出題された問題の正答率がやや低い傾向となりました。文章問題を立式する際に、文章の言葉を短絡的に捉えてしまうことが原因と推察されます。複雑な問題の場合は数量の関係性を線分図や関係図に整理して演算を決定する習慣を育成していきます。

算数科は、個人差が大きくみられる結果でもありました。学校でも引き続き、全体指導と個別支援のバランスを考え、きめ細やかな指導に取り組んでまいります。

《解答時間について》

国語科・算数科ともに「解答時間は十分でしたか」という質問に対して、「やや足りなかった」と回答した児童が全国・県の平均を上回りました。45分前後の一定の時間内に、内容の異なる複数の問題に取り組むことになっていないようです。また、文章を読む早さも影響していると考えます。時間内に一定量の問題に取り組む経験を積み重ねることで、児童が余裕をもって問題に取り組めるように支援していきます。

(3) 本校の児童質問紙調査の傾向

- ・学習への関心等についての回答では、「国語科・算数科の勉強は好きかどうか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童が全国や県に比べてやや高い傾向にありました。「学校に行くのは楽しいか」「友達関係に満足しているか」という質問に対してもまた、肯定的な回答が全国や県に比べてやや高い傾向にありました。これは比較的良好な人間関係のなかで児童が意欲的に学習に取り組んでいると推察できます。今後も、児童同士の人間関係を大切に、児童が主体的に学ぶ機会をさらに設け、児童の学習意欲・学力の向上を図りたいと思います。
- ・朝食、就寝時刻、起床時刻などの生活習慣についての回答では、経年分析と合わせて見ても、朝食、就寝時刻、起床時刻などの様子から規則正しい生活を送っている児童が多く見受けられます。これはご家庭で保護者の皆様のご協力いただいている成果だと思います。一方、テレビ、テレビゲームやスマートフォンなどとの関わりについて1日当たりの時間が4時間を超えると回答した児童の割合は、全国や県の平均を上回る結果となりました。情報機器と関わる時間や使い方について多面的に見直していくことが必要と考えます。
- ・情意面についての回答から、自分のよさを理解していたり、他者から認められていることを実感したりしている児童が多く、自己有用感が育っています。また、将来の夢や目標を持っている児童も多くおり、自分の将来について前向きに考えることができている。これが学習への関心の高さへとつながっていると考えます。規範意識も高く持っており、相手の立場になって考える心や態度が育っています。

以上のような結果から急激に変化する社会の中で本校の学校教育目標「おもいやりのある子」「たくましい子」「すすんで学ぶ子」を目指し、道徳教育や人権教育の推進を図り、学校生活の様々な場面で児童の健やかな心身の育成に努めてまいります。

今年度の調査結果をいかし、家庭・地域・学校が互いに協力・連携して、全職員で一人ひとりの児童を大切に育てていきたいと考えています。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。